

観光料飲部会長報告

1. 会議名 第3回千秋公園歴史観光検討会（第4回観光料飲部会（オープン））
2. 日時 2023年9月11日（月）15：00～16：30
3. 場所 当所ホール80
4. 出席者 部会員等21名
5. 内容

テーマ 「IT技術を活用した活用した千秋公園の観光コンテンツの可能性」

ゲスト

(1) (株)コンダクター

代表取締役 斎藤 和貴 氏

(2) リアルワールドゲームス(株)

代表取締役社長 清古 貴史 氏

(3) NTTテクノクロス(株)

デジタルトランスフォーメーション事業部

尾見 亮也 氏



(1) (株)コンダクター

■ご当地RPG「秋田市クエスト」の開発

- ・ 秋田市を知ってもらおうきっかけとして、千秋公園などの観光スポットや名所を紹介するほか、秋田市のお店の商品がゲームのアイテムとして登場する**秋田市を舞台にしたゲームを開発**。
- ・ **クラウドファンディングで434万円**の目標金額130%を達成。秋田市の著名人もゲームに登場。
- ・ 開発の参考とした「清水港クエスト」では、ゲームをきっかけに移住者もいたとのこと。
- ・ **2023年9月30日リリース**で、**完全無料でプレイ**することができる。

■自社技術を活用した千秋公園の観光コンテンツ提案

- ・ 本ゲームを通じて**聖地巡礼やSNS拡散に期待**できる。
- ・ **本ゲームと連動させ、千秋公園を散策しながらスマホでビンゴゲームやフォトポイントで写真を撮る**などの仕掛けを展開できたら良い。



敢えて一昔前のゲームビジュアルにこだわった（ドラクエ風）



主人公はSNSを中心に一般投票で決定するなど開発過程でも秋田をPR

(2) リアルワールドゲームズ(株)

■ 地域×位置情報サービス

- ・ AI位置情報を利用して自社アプリ開発や大学・医療機関等との共同研究を行っている。
- ・ 全国各地のスポーツクラブともコラボしており、**秋田ではGPSを活用した街歩きアプリにより「ブラウブリッツ秋田ウォーク」を2回実施。**
- ・ クイズスポット30カ所を設定し、正解するとブラウブリッツ秋田の選手コレクションカードやお店のクーポンが手に入る仕組み。また、ゲーム内で商店街やサポートショップの店舗紹介(773店舗)も行った。
- ・ **第2回目の累計参加人数は約1ヶ月で1,293人。**

■ 自社技術を活用した千秋公園の観光コンテンツ提案

- ・ 千秋公園を散策しながら**「佐竹本三十六歌仙絵巻」の絵巻の欠片を集めて1つの絵巻にするとARで久保田城が復活**という仕組みは技術的には可能。内容は地元の方と擦り合わせが必要。



第2回ブラウブリッツ秋田ウォーク
(2022.12.15~2023.1.15)



AI位置情報技術を活用した回遊施策
としての提案

(3) NTTテクノクロス(株)

■ かざして案内® for Biz

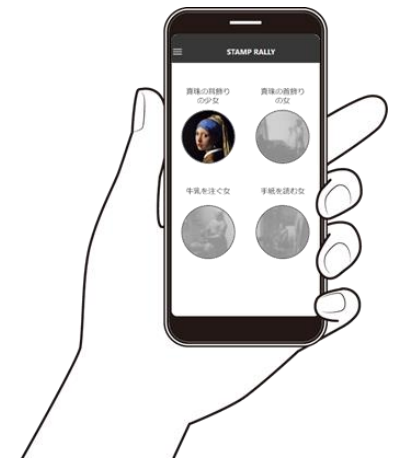
- ・「かざして案内® for Biz」は、**予め学習した対象をカメラで撮影することで画像内の物体を認識可能とする画像認識AIクラウドサービス。**
- ・観光案内や美術館の作品案内などの用途での利用が多く、オプションとして**デジタルスタンプラリー機能**も提供。
- ・多言語対応のボイス案内も設定可能であり、観光施設等では案内コンシェルジュの負担軽減につながっている。

■ 自社技術を活用した千秋公園の観光コンテンツ提案

- ・千秋公園内のポイント撮影により、**知りたい情報を手元で知ることができる。**
- ・函館の導入例では、店舗の外観や観光リーフレットを撮影すると、スマートフォンに設定された言語を判別して**店舗情報やメニュー等を多言語表示。飲食店等への誘導策としても活用可。**



カメラで撮影すると、詳細情報が見ることができる



スタンプラリー機能で回遊性アップ